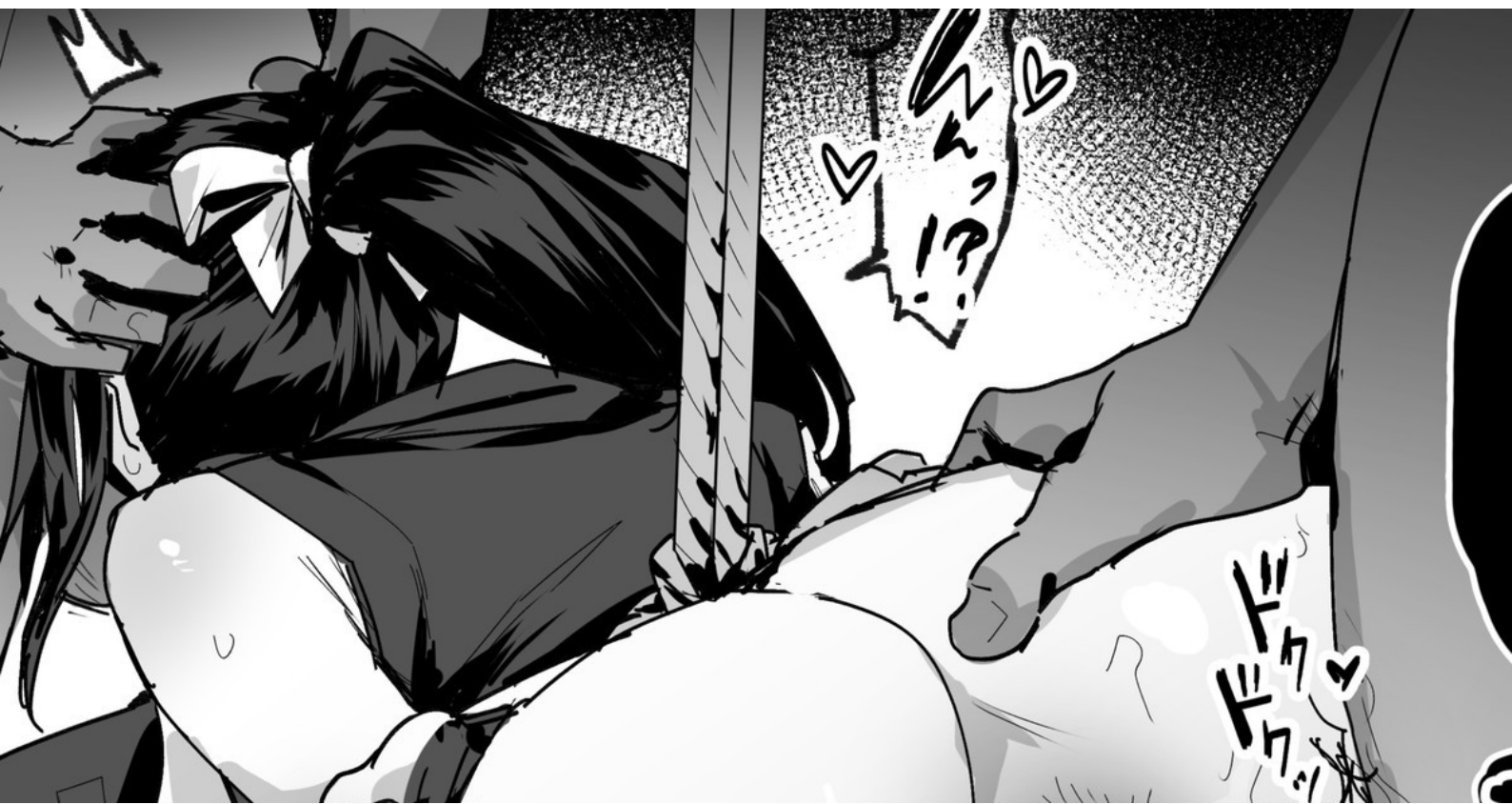




どんな風が
入ったのかと
思えば...

とんだ
上玉では
ないか

こいつあ思わぬ
収穫ですなあ
へっへっへ...

くっ...
犯せ...!

おっ...
おっ...

ぐへへ...悪いのお
そろは問屋が...

えん...

えろ

菊門でも何でも
好きにするがいい!
既に洗済済みだ!

私は絶対に
おちんぽに
屈したりなど
しない!!

な...何じゃ
此奴は!!

むにー~~~~♡

フフ

まあ良い

そう言うなら
お望み通り
その清潔な菊門を
使わせてもらおうと
するか...

おにー

どれ...
具合は
どうかのお?

くっ...♡

のこ声で
鳴くじゃあねえか
この助平女め

おちん...

こりゃあ
名器じゃ

ちんぽに
吸い付きよる

ほれ
再開ける

ズン

おにー

おにー

おにー

おにー

おにー

おにー

おにー

おにー

おにー

おにー

おおお
出る出る...

おはははは

ははは

三三三

年甲斐もなく
盛ってしまった
のう...

んんん

ドクドク

んんん

んんん

んんん

んんん

わしの優秀な子種を
菊門なんぞに
ぶちまけるんじや
光栄に思えん?

さあて...
お次は...

ぬ...!

ぐが...!
何じゃ...!
体が...!

フウ...
ようやく
効いてきたか

こんなことも
あろうかと舌裏と
菊門に痺れ薬を
仕込んでおいたのさ

じゃあねお代官様
アンタのちんぽ...
正直悪くなかったよ

ぐおおお...
お...おのれ...

おまんこも
しだかつたあ...

おまんこ
私には
耐かない

